

# 憲法しんぶん速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

2008年5月15日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

Eメール [mail@kenpoukaigi.gr.jp](mailto:mail@kenpoukaigi.gr.jp)HPサイト <http://www.kenpoukaigi.gr.jp/>

## 憲法会議と安保破棄中央実行委員会が

# 「派兵恒久法」提出阻止をめざす各界懇談会（27日）を呼びかけ

5月14日、憲法会議と安保破棄実行委員会は、自衛隊海外派兵と武力行使のための「派兵恒久法」提出阻止をめざす緊急各界懇談会を広く呼びかけました。各界懇談会では、政府・与党が秋の臨時国会に「派兵恒久法」の提出をねらっている重大な情勢をふまえて、緊急のアピールを発する等、阻止をめざし、率直な意見交換をすることになっています。多数のご参加を呼びかけます。

## 一「各界懇談会」の呼びかけ文（要旨）一

福田内閣は、明文改憲の企てにおいて、一定の手づまり状態に追い込まれながらも、執拗に策動を強めています。彼らは、当面、解釈改憲で憲法9条の破壊を極限にまで推し進めようとしています。焦点は、無制限の戦争支援に道を開く、自衛隊海外派兵と武力行使のための「派兵恒久法」を制定することにあります。また、そのことと結合して、憲法審査会を動かし、改憲手続き法が「始動」する2010年には、改憲案作成に目途をつけようとしています。

しかし、これらの策動を許さない可能性と条件がいま大きく広がっています。4月17日、名古屋高裁は「自衛隊のイラク派兵は憲法違反」と、目の覚めるような判決を下しました。また、4月8日の読売新聞の世論調査は、9条改悪反対が賛成を圧倒しました。しかも、その理由は「世界に誇る平和憲法だから」です。

これらの背景には、職場、地域、草の根の「憲法改悪反対・9条守れ」の運動の前進があります。運動の前進が司法判断や世論調査にも見事に反映し、そのことがまた確信になって、5月3日を中心とした各地の大きな成功に繋がっています

他方、強まるアメリカの圧力のもと、福田内閣は、高裁判決で憲法違反だと断罪されたばかりの海外派兵と武力行使のための「恒久法」を、1月の「新テロと特措法」の期限切れを視野に、秋の国会にも提出しようとしています。自民・民主・公明の国会議員で作る「若手議員の会」もこの動きを推進するなど、危険な動きが強まっています。

このようななかで、憲法と「派兵恒久法」をめぐる情勢とその問題点を明らかにし、緊急のアピール発表など共同で取り組める事項について、率直な意見交換のため、懇談会を開催したいと存じます。

誠に急で恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、標記懇談会にご参加願えますよう、心からお願いいたします。

■ 日時 2008年 5月 27日（火） 午後6時～8時半

■ 会場 全労連会議室

■ 懇談会の内容

▽ 問題提起

・名古屋高裁判決の歴史的意義について

小林 武さん（愛知大教授）

・国会情勢報告

日本共産党国会議員に依頼中

▽ 懇談内容

1、自衛隊海外派兵と武力行使の「派兵恒久法」提出阻止の国民的運動の推進について

2、緊急アピールについて、その他